

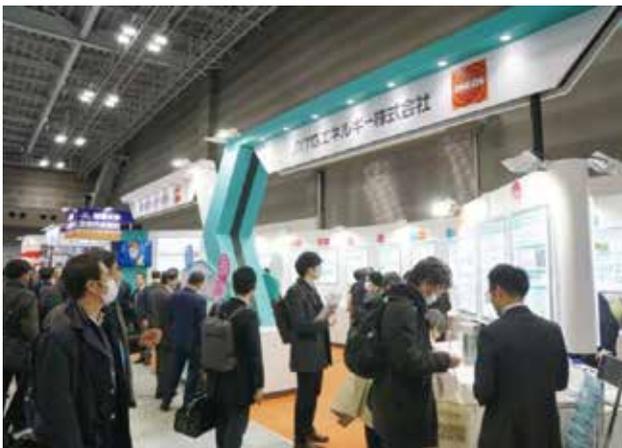
「第8回クルマの軽量化技術展」に出展

当社は、1月17日～19日に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「第10回オートモーティブワールド総合展示会／第8回クルマの軽量化技術展」において、当社各部・ユニットで連携し、10種を超える商材の出展を行った。同展示会には約1060社が出展し114,000人を超える来場者で熱気にあふれていた。当初想定していた用途分野の有望顧客のみならず、想定していなかった新規分野の顧客にも当社素材を紹介することができ、新たなニーズ発掘につながる良い機会となった。

(機能材カンパニー 機能材研究開発部 機能材研究企画グループ 市林 拓)

当社の主な出展内容

- 高い吸音性能を有する JX マイクロファイバー不織布
- 独自の石油ニードルコークスを原料とした高性能リチウムイオン電池用炭素材
- ゴムの性能と樹脂の加工性を両立させた「ENEOS ラバージェラティック®」
- 高い耐熱性と低粘度を両立した高耐熱性エポキシ樹脂
- 金属部品の樹脂化に貢献する高摺動樹脂素材
- 金属同等の電磁波シールド性能を軽量の樹脂で実現した電磁波シールド材料
- ナノインプリント技術により高い導電性と光透過性を両立させた透明導電フィルム
- ナノインプリント技術を応用した曇り防止ナノ構造・無反射ナノ構造
- 虫歯菌の酵素重合を利用した高耐熱透明樹脂 α -1,3-グルカン



当社出展ブースの様子



当社素材をアピールするエネゴリくん